

# アスティー宮

## 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

### 1 概要

既存で営業しているアスティー宮の改修を行い、小売店舗部分が1,000㎡超となるため、5条1項の届出を行います。

### 2 届出の内容

届出年月日	令和3年11月15日		
店舗	店舗名称	アスティー宮	
	店舗所在地	愛知県一宮市栄三丁目1番地1 他1筆	
設置者	名称	名古屋ステーション開発株式会社	
	代表者	代表取締役社長 河野 俊輔	
	住所	名古屋市中村区名駅一丁目1番3号	
	その他	なし	
小売業者	名称	未定	
	代表者	未定	
	住所	未定	
	その他	未定	
店舗面積	1,932 ㎡		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	39 台 (指針台数: 39 台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	55 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	61.6 ㎡
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	36.12 ㎡
施設の運営	営業時間	開店	午前7時
		閉店	午後11時
	駐車場利用時間帯	午前6時30分から午後11時30分まで	
	駐車場出入口	数	2箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	24時間		
新設する日	令和4年7月16日		

### 3 参考事項

敷地面積	8,770 ㎡		
建築面積	6,164 ㎡		
延床面積	6,150 ㎡		
業態	総合店		
用途地域	商業地域	—	—
備考			

# アスティー宮

## 4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	周辺の街並みづくりと違和感のない建物と致します。
(2) 深夜営業の対応	騒音の発生や防犯対策について、検討しております。
(3) 住民説明会の開催	大規模小売店舗立地法届出後2か月以内に開催致します。
(4) テナントの履行確保	テナントの履行確保に努めます。
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命致します。
(6) 予測乖離時の措置	関係行政機関と協議の上、指針に沿った合理的な措置を講じます。
(7) 通年の臨時措置	繁忙時には交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	混雑状況に応じて交通整理員を適宜配置致します。

## 5 施設の配置及び運営方法に関する事項

### 1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

#### (1) 交通に係る事項

##### ア 駐車場の必要台数の確保

##### (ア) 小売店舗の必要駐車台数

##### a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 來台車数F S/1000×A×B×C/D	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
383,191人	1,932 ㎡	1,042	14.40%	24 m	39.30%	2.00 人	57 台	0.677	39 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	一般用駐車台数	来客用駐車台数	評価
87 台	0 台	0 台	0 台	48 台	39 台	○

#### イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの來台車数
0箇所	2箇所	0箇所	2箇所	57 台

#### ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

種別	2	収容台数	20 台		歩行者動線		分離	騒音配慮	駐車場の平面化		排ガス配慮	アイドリングストップ	
			道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離			駐車待スペース	予測來台車数		道路形態	入出庫方法
東	1箇所	市町村道	6m	あり	22m	—	—	23台	双方向	右左折混合	あり	—	○
西	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備

種別	2	収容台数	19 台		歩行者動線		非分離	騒音配慮	駐車場の平面化		排ガス配慮	アイドリングストップ	
			道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離			駐車待スペース	予測來台車数		道路形態	入出庫方法
東	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南	1箇所	県道	16m	あり	12m	—	—	34台	双方向	右左折混合	あり	—	○
北	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

交通整理員等の配置 年間を通して混雑する時期のみ配備

評価	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
○	○	○	○	○	○

#### エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

# アスティー宮

## (ア) 交差点需要率等の検討

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
交差点A	需要率	0.248	0.267	○	0.298	0.317	○
	将来交通量/可能交通容量	0.264	0.264	○	0.354	0.354	○
	ピーク時間帯	10時台			8時台		

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
交差点B	需要率	0.280	0.286	○	0.307	0.319	○
	将来交通量/可能交通容量	0.456	0.456	○	0.605	0.642	○
	ピーク時間帯	11時台			8時台		

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
交差点D	需要率	0.241	0.279	○	0.296	0.333	○
	将来交通量/可能交通容量	0.674	0.825	○	0.721	0.854	○
	ピーク時間帯	12時台			18時台		

右折の評価		休 日			平 日		
		評価			評価		
出入口②	運用	出庫			入庫		
	評価	非常に小			非常に小		
	ピーク時間帯	12時台			8時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

オープン時等、状況に応じて適宜交通整理員を配置します。

## オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	敷地北側隔地 55台確保		
駐輪場の収容台数	55台		
標準収容台数	55台		
収容台数根拠	指針の標準収容台数による		

位置評価	台数評価
○	○

## カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	0台
位置及び箇所	駐車場と共用		

位置評価	台数評価
○	○

## キ 荷捌施設の整備等

### (ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	61.6㎡	あり	20分	3台	3台	○

### (イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00~7:00 8:00~9:00	3台	8:00~9:00	23:00~24:00	なし	有	○

## ク 経路の設定等

### (ア) 車両関係

#### a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
なし	配置	チラシ配布	非回避	回避	回避	あり

# アスティー宮

## b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	あり	—

※非配備の場合等の対応

搬出入車両の入出庫時は従業員等により歩行者注意の意識を徹底し、安全確保に努めます。

## c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

## d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

## (イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

## (ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

## (エ) 防災・防犯対策への協力

### a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	

### b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
-	-	

評価
○

## 2 生活環境悪化防止関係

### (1) 騒音発生に係る事項

#### ア 騒音問題対応策

##### (ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	76 m	86 m	設備機器	なし	なし	—
西方向	54 m	58 m	設備機器	なし	なし	—
南方向	32 m	32 m	設備機器	なし	なし	—
北方向	24 m	80 m	設備機器	なし	なし	—

遮音壁の影響	なし
--------	----

### (イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	あり
荷捌施設建築計画面での配慮	荷さばき施設は、十分な作業スペースを確保
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ、作業員への騒音防止意識の徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

### (ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入
給排気口等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入
駐車場からの騒音配慮	アイドリングストップの呼びかけ
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	定期的なメンテナンスにより経年劣化を防ぎます

### (エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	該当なし
運営面の騒音配慮	該当なし

# アスティー宮

## イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	16	キュービクル	0	外調機	0	排気口	15	給気口	8				
		冷凍機室外機	0	換気口	0	全熱交換器	4								
	変動騒音	自動車走行	-	後進警報ブザー	-										
		ゴミ収集作業	-												
衝撃騒音		荷さばき作業	-	台車走行	-										
建物の構造(高さ)		鉄筋コンクリート造一部鉄骨造1階建(7.5m)													

### (ア) 等価騒音レベル予測

		西(A)	北(B)
用途地域		商業地域	商業地域
昼間基準値		60 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	41.9 dB	41.7 dB
	評価	○	○
	夜間等価騒音レベル	34.8 dB	34.6 dB
	評価	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当

### ※基準値を超えた場合の対応等

すべての予測地点において、昼間及び夜間の等価騒音レベルは環境基準を満たします。従って、周辺的生活環境への影響は軽微であると考えます。万が一、周辺の住居の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、原因を明らかにし、当該店舗が起因している場合には、最大限対応致します。

### (イ) 夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無		無		
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か		—		
上記A・Bの具体的内容		—		
		西(P1)	西(P2)	北(P3)
用途地域		商業地域	商業地域	商業地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし
基準値		50dB	50dB	50dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	60.9 dB	60.6 dB	58.2 dB
	評価	△	△	△
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	—	—	—
	評価	—	—	—
県	定常騒音の騒音レベル検証	—	—	—
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	—	—	—
		西(P1')	西(P2')	北(P3')
用途地域		商業地域	商業地域	商業地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし
基準値		50dB	50dB	50dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	43.6 dB	43.4 dB	42.6 dB
	評価	○	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	—	—	—
	評価	—	—	—
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	—	—	—

### ※基準値を超えた場合の対応等

すべての予測地点において、騒音レベルの最大値は敷地境界で規制基準を上回りますが、保全側敷地境界では規制基準を下回ります。従って、周辺的生活環境への影響は軽微であると考えます。万が一、周辺の住居の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、原因を明らかにし、当該店舗が起因している場合には、最大限対応致します。

# アスティー宮

## (2) 廃棄物関係

### ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	建物に内蔵し、密閉性を保ちます。
衛生問題関係配慮	廃棄物保管施設は定期的に清掃します。

### (ア) 小売店舗の必要保管容量

#### a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	16.06 m <sup>3</sup>	1日	0.402 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	4.02 m <sup>3</sup>	変更なし	○
金属製廃棄物用	0.56 m <sup>3</sup>	1日	0.014 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	0.14 m <sup>3</sup>	変更なし	○
ガラス製廃棄物用	0.48 m <sup>3</sup>	1日	0.012 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	0.12 m <sup>3</sup>	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用	15.58 m <sup>3</sup>	1日	0.039 t	0.01 t/m <sup>3</sup>	3.90 m <sup>3</sup>	変更なし	○
生ごみ用	2.36 m <sup>3</sup>	1日	0.327 t	0.55 t/m <sup>3</sup>	0.59 m <sup>3</sup>	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用	1.08 m <sup>3</sup>	1日	0.104 t	0.38 t/m <sup>3</sup>	0.27 m <sup>3</sup>	変更なし	○
合計	36.12 m <sup>3</sup>	-	-	-	9.04 m <sup>3</sup>	-	○
保管日数の設定根拠	既存店舗での実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

#### b その他の廃棄物等 該当なし

### (イ) 小売店舗以外の施設の必要保管容量

#### a 飲食店の廃棄物等

小売店舗と別途確保致します。

#### b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

小売店舗と別途確保致します。

### (ウ) 小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	なし
ダンボール不使用納品の実施	なし	食品トレーの回収箱設置	なし
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	なし
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

### ※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・ 分別の徹底によりごみの減量化に努めます。
- ・ レジ袋はお客様の必要に応じて販売とし、レジ袋の削減に努めます。

### (エ) 廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	極力段差のない構造とする。
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	なし
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

### イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	毎日搬送
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増やす
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

# アスティー宮

## ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	生ごみは密閉容器で保管します。
併設施設からの悪臭防止対策	該当なし

評価
○

## (3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	周辺の街並みづくりと違和感のない建物と致します。
	環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地の清掃を行う。
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する。	
照明等の配慮	屋外照明は駅の証明を利用し、現状苦情等はありません。	
敷地内の緑地計画	緑地設置無し。	

評価
○

市町村の意見概要	対応
意見なし	—

住民等の意見の概要	対応
意見なし	—

県の意見案
意見なし